

教員名	米田 俊彦 (YONEDA Toshihiko)
所属	文教育学部人間社会科学科教育科学講座
学位	教育学博士 (1989 東京大学)
職名	教授
URL/E-mail	yoneda@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

教育法令 / 旧教育法体系

◆主要業績

総数 (5) 件

- ・『反大学論と大学史研究—中野実の足跡—』(東信堂 2005 年 5 月)、共編著
- ・『大日本職業指導協会と機関誌『職業指導』—発足の経緯と財団法人化 (1932 年) までの動向—』(2006 年 3 月、単著、COE 報告書)
- ・『第 2 次世界大戦後における日本の女子高等教育に関する社会史的研究』(2006 年 3 月、共編著、科学研究費報告書)

◆研究内容

『近代日本教育法集成』の編纂を継続している (すでに 10 年近くを費やしている)。大日本帝国憲法・各学校令制定前後から日本国憲法・教育基本法制定前後までの旧教育法を、一部抄録としつつ、主要なものを改廃を含めてすべて収録して、分類・体系化したものを編集している。

◆教育内容

学部・大学院のいずれにおいても教育史、教育制度史などの授業を担当しています。担当した卒業論文の題目は「白井常の幼児教育理論と東京女子大学同窓会幼児グループ」「教育委員会と地方教育行政の在り方に関する一考察」「日本における子ども電話相談の一考察」、修士論文の題目は「教員養成における一般教育の位置づけ—戦後教育改革における「師範型」克服論争の結末—」でした。

◆Research Pursuits

I am compiling “laws and ordinances in modern Japan”. I am collecting and classifying laws and ordinances promulgated in the period from the end of 19 century to the World War II.

◆Educational Pursuits

I am teaching subjects about the history of education or system of education. I led students who wrote graduation theses on the theory of the preschool education of SHIRAI Tsune, the board of education, and the consultation for children by telephone, and a master's thesis on the general education in the teacher training.

◆共同研究例

・「学校沿革史の研究」（財団法人野間教育研究所における共同研究）

◆将来の研究計画・研究の展望

現在進めている『近代日本教育法集成』を 2007 年度中には完成させたいと考えている。

◆受験生等へのメッセージ

教育の制度や現象を歴史的に考察する研究活動を行っています。歴史というのは古い時代ばかりを対象にするわけではなく、ごく最近のことも含め、歴史的に研究することは可能であり、また必要なことです。